

平成26年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	市制施行60周年記念 相模川鮎友釣り大会 [1]
申請団体	相模川鮎友釣り大会実行委員会
事業目的等	<p>事業概要 相模川の鮎の友釣りエリアが、これまでの高田橋下から昭和橋下まで広がったことから、従前行っていた昭和橋付近での鮎の友釣り大会を復活するもの。</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母なる川・相模川での鮎釣りに親しむ ・相模川の雄大な自然環境に触れる ・参加者、近隣住民への憩いの場の提供
交付決定日	平成26年 5月27日
交付決定金額	170,000 円 (全体事業費 482,380 円)
団体実績報告	<p>事業実績 相模川の鮎の友釣りエリアが昭和橋まで拡大されたことを契機に再び鮎釣り大会を開催したが、当初40人の参加を見込んでいたところ、59人の参加により盛大に開催することができた。また、魚のつかみどりは、親子など200人を超える参加者があり、川をせき止めて作ったプールには多くの子どもの歓声でにぎわった。平成20年以降休止していた大会であるが、多くの協賛や団体の協力により盛会のうちに大会を終了することができた。次年度以降の開催を予定しているが、さらなる参加が得られるよう実施内容等を検討していきたい。</p> <p>自己評価 久しぶりの開催で、なおかつ短時間の中での準備など、大会実施に至るまでの苦労は多かったが、多くの参加者があったことは、この大会に期待する方が多いという証である。この度の大会の反省を生かし、来年度以降さらなる参加者が得られるよう実施内容等の充実を検討していきたい。</p>
市評価	昭和橋付近での鮎釣り大会は久しぶりの開催であったが、市内外から多くの参加者を得て、相模川の自然、そして麻溝地区の魅力を広く紹介できたものと感じる。また、魚のつかみ取りも予想を上回る参加者で、子供たちにとって自然と触れあうよい機会となったものと感じる。来年度以降も事業の継続的な実施が期待される。
備考	

申請事業名	”いいまち あさみぞ”安心見守りプロジェクト推進事業	[2]
申請団体	いいまち あさみぞ安心見守りプロジェクト実行委員会	
事業目的等	<p>事業概要 「地域から孤立する人をつくらない」、「見守る必要のある人を確実に見守る」ことにより、ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らせる地域づくりを実現する。</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から孤立する人を見逃さない ・継続的・日常的な見守りが必要な方を確実に見守る ・緊急対応や専門的な支援が必要な方に対して適切な対応を行う 	
交付決定日	平成26年 7月29日	
交付決定金額	100,000 円	(全体事業費 291,393 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクト周知、気付き啓発事業 地域住民全体に見守りプロジェクトに取り組む必要性や、隣近所の気付きの重要性を啓発するチラシ(前年度作成済み)を、全戸配布。 ポスティング業者により全戸配布(6月中旬～下旬)を実施。 2 安心グッズ作成・配布事業 緊急連絡先、かかりつけ医などを記入できるカードや災害時に利用できるグッズ(ブザー、シートなど)を安心グッズとして作成し、希望者に配布。 <ul style="list-style-type: none"> ・安心グッズ希望者募集チラシ(6,800枚)作成(3月) ・ポスティング業者により全戸配布(3月下旬)を実施 ・利用者の安心グッズメンテナンスを実施(7月・1月) ・安心グッズを随時配布 3 情報交換会の開催 当初講演会の開催からの変更 相模湖地区社会福祉協議会との高齢者世帯への安心見守り事業について情報交換会を実施(2月26日) <p>自己評価 平成23年度から地区社会福祉協議会、民生委員、自治会、老人クラブ等が継続して行っている「地域で孤立しがちな高齢者等をゆるやかに見守る体制」がより充実したものとなった。また、事業案内チラシの配布については、全戸配布することにより、多くの人の目に触れるなど宣伝効果は高いものと考えている。</p>	
市 評 価	ゆるやかな見守りについて、継続的に事業を実施することにより、地域住民への周知とその関心が高まっているものと感じる。また、関係する団体が連携を密にしていることから、その活動の実効性が高いものと評価する。	
備 考		

申請事業名	麻溝公民館の花壇美化活動	[3]
申請団体	麻溝ガーデニングクラブ	
事業目的等	<p>事業概要 麻溝公民館前にある花壇の花の植え付けと管理、土の手入れ</p> <p>事業の目的 年間を通し、花壇に花が咲いているようにし、来館する方々の心を和ませる</p>	
交付決定日	平成26年 7月28日	
交付決定金額	43,000 円	(全体事業費 43,227 円)
団体実績報告	<p>事業実績 年間を通じた麻溝公民館前花壇の花の植え付けと手入れ及び管理</p> <p>自己評価 はじめは3人からの活動でしたが、今では12人の仲間在花壇の手入れをして、公民館を訪れる方々から“いいね”と声を掛けてもらえる様になり、とてもうれしく思います。交付金の活用により工具を購入し、作業もスムーズに進み、時間短縮もでき、良い活動ができています。</p>	
市評価	<p>公民館の入口をいつも華やかに飾ってくれている花たちの手入れを当該クラブのメンバーは年間を通じて実施している。その作業に必要な道具等を購入し、作業効率が大幅に改善したとのこと。引き続き、来館者を楽しませてくれる活動の継続を期待する。</p>	
備考		

申請事業名	あさみぞさくら植樹プロジェクト	[4]
申請団体	麻溝観光協会	
事業目的等	<p>事業概要 麻溝地区内にある施設等へのさくらの植樹</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体や地域住民の交流促進及び地区内各所へのさくらの植樹による観光振興 ・子どもたちへの郷土愛の醸成 	
交付決定日	平成26年 10月10日	
交付決定金額	136,000 円	(全体事業費 136,464 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>さくら植樹プロジェクト2年目の今年度は、地区内の植樹を希望する各施設にオカメ桜をしてもらい成木となる5年後に地区内各所でオカメ桜の花が見られるように、面的な広がりを期待して事業を行った。また、昨年度実施した植樹のメンテナンスとして弱った苗木の交換や追肥などを行った。</p> <p>植樹場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係 相陽中学校、光明学園相模原高校、県立相模原養護学校、北里大学、女子美術大学 ・寺社関係 浅間神社、清水寺 ・福祉施設関係 あさみぞホーム、相陽台ホーム、よもぎの里、ラペ相模原、虹の家、はやぶさ学園 ・自治会館 新屋敷自治会館 <p>自己評価</p> <p>さくらの植樹を通じて、地域住民の麻溝地区への郷土愛の醸成が図られたとともに、地域の団体間の連携や共通の話題として、植樹場所の拡大のほか、桜を通じたさらなる事業の展開が期待できると考える。</p>	
市評価	<p>2年目の取組として、地区内の様々な場所への植樹が行われた。このことにより数年後には、同じ時期に美しい桜の花がこの地区の人々の目を楽しませてくれるものと期待します。桜の苗木を配布した先では、桜の木を植樹できる喜びの声が多かったと聞いており、桜の木を通じて、人々の郷土愛が深まるものと思います。</p>	
備考		

申請事業名	麻溝地区自治会連合会加入促進事業	[5]
申請団体	麻溝地区自治会連合会	
事業目的等	<p>事業概要 地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施するもの</p> <p>事業の目的 ・自治会活動の周知 ・自治会未加入者の加入促進</p>	
交付決定日	平成26年 12月8日	
交付決定金額	617,000 円	(全体事業費 827,852 円)
団体実績報告	<p>事業実績 地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施した。</p> <p>1 ごみ集積所自治会設置看板の製作 自治会が管理している周知を図るための看板を作製した。 (作製枚数:200枚)</p> <p>2 折りたたみごみ収集カゴの設置 ごみ集積所の美観を保つための折りたたみごみ収集カゴを設置した。 (大サイズ12台、中サイズ5台、ミニサイズ3台)</p> <p>自己評価 自治会活動は、地域住民の相互理解の下、活動が円滑に行われるものである。自治会活動として何が行われ、どのような効果があるのか、こうした活動を広く周知することはそうした相互理解への第一歩と考えている。こうした地道な活動を展開し、多くの住民が参加する自治会となるよう引き続き努めていきたい。</p>	
市評価	<p>自治会加入促進は、地域の活性化、相互扶助の精神を推進する上では、大変重要な取組で、ごみ集積所の美化活動は、日々の生活に密着し、自治会活動を理解して、もらうには分かりやすいものとする。</p> <p>こうした集積箱、看板を目にする機会が増えることで、自治会加入に繋がることを期待する。</p>	
備考		

申請事業名	自転車マナーアップ講習会	[6]
申請団体	相模原市安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	
事業目的等	<p>事業概要 スタントマンによる交通事故疑似体験学習(スケアードストレイト)の実施</p> <p>事業の目的 自転車マナーアップの向上および交通安全意識の高揚</p>	
交付決定日	平成27年 1月28日	
交付決定金額	280,000 円	(全体事業費 358,931 円)
団体実績報告	<p>事業実績 地域住民に対する自転車マナーアップの向上、交通安全に関する意識向上に繋がる事業を実施した。</p> <p>1 相模原南警察署による交通安全講話 2 スタントマンによる交通時疑似体験学習「スケアードストレイト」の実演</p> <p>自己評価 日頃何気なく行っていた行為が交通ルール違反であったなど、事業に参加することで、交通ルールの再確認や、マナーの向上につながることができた。今後も交通事故防止や交通安全意識の高揚につながる講話や講習会を実施することで、安全で住みやすいまちづくりを目指し、地域の防犯・安全活動に取り組むように努めていきたい。</p>	
市評価	<p>麻溝地区では、初の実施であったが、目の前で再現される自転車事故の様子は、参加した方々にとって、事故の悲惨さと交通安全意識の向上の大切さを知る良い機会になったものと感じる。もっと小学生に参加して欲しかったとの意見もあったことから、継続実施を期待する。</p>	
備考		